

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和7年 7月 2日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県東近江市五個荘中町346

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
近江織物株式会社
取締役社長 川口裕之

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	近江織物株式会社 取締役社長 川口 裕之
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県東近江市五個荘中町346

1 事業所の概要

事業所の名称	近江織物株式会社					
事業所の所在地	滋賀県東近江市五個荘中町346					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	1	2	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 綿・スフ織物業
事業の概要	化学繊維・天然繊維の製織及び綿織物の整理加工					
従業員の数	109	人	操業時間	16 (6時~22時)	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	8	台	熱源設備	19	台
	コンプレッサ	10	台	空気調和設備	3	台
				照明設備	1800	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	令和4	年度	報告対象年度	令和6	年度
	終了 年度	令和8	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

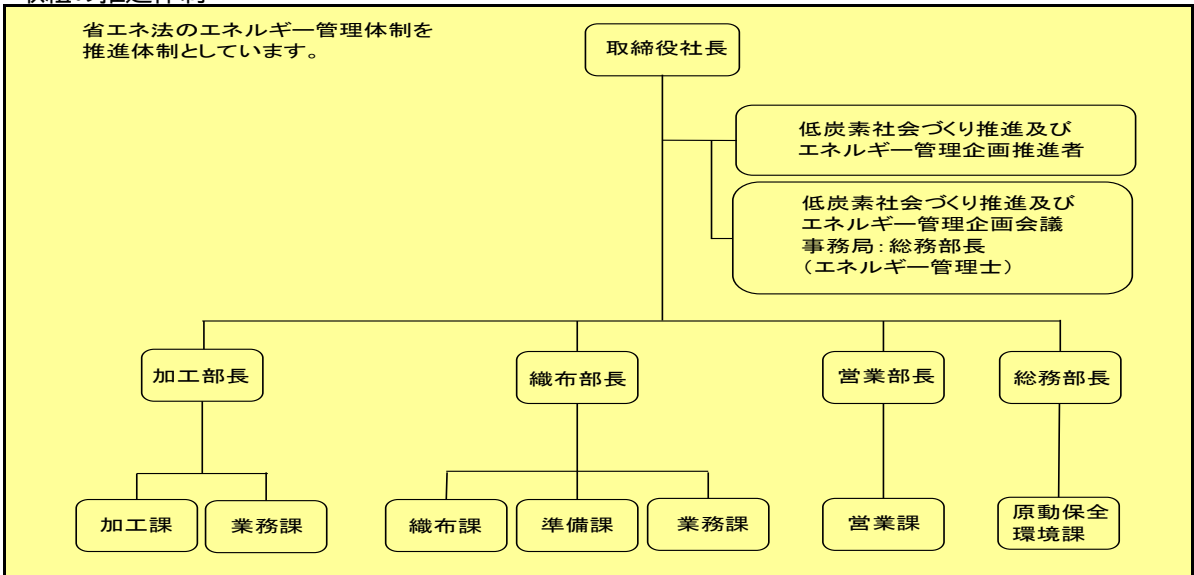
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち近江織物株式会社はCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組として次の事項を遵守し「エネルギー資源の有効活用」と「地球環境の保全」の貢献に努めてまいります。

1、エネルギー資源の有効活用

- ①エネルギー消費原単位を、過去5年間で年平均1%以上の改善または前年度に比べ改善します。具体的な省エネルギー対象設備、用途及び省エネルギー目標は、全社的長期視点から決定します。
 - ②エネルギーの選択にあたっては使用目的に適合し省エネルギー性、経済性、地球温暖化ガス排出量、取扱い性、安全性等を総合評価し決定します。
 - ③エネルギー使用設備機器の導入・改造等にあたっては中長期的省エネルギー、地球温暖化ガス排出量抑制に寄与するものを優先します。
 - ④エネルギーの使用にあたっては、使用状況(使用量を含む)を正確に把握し、無駄の排除に努めます。
- 2、緑化及び廃棄物の削減に努めます。
- 3、従業員へ取組方針の周知を徹底し、地球環境の保全活動推進に努めます。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・役員会に合わせエネルギー管理委員会(12回/年)を開催。
- ・使用していない場所の照明の消灯及び生産設備の待機電力削減を図った。
- ・デマンド監視装置を活用し電力ピーク時の対策に取り組んだ。
- ・排水処理設備の曝気用ブローア及び地下水揚水用ポンプのインバータ化による消費電力の削減。
- ・排水処理設備の老朽化したトランスを更新時に統合(150kVA、200kVAの2台を300kVAの1台)し消費電力を削減。
- ・製品出荷倉庫内の水銀灯をLED化し、消費電力を削減。
- ・工場内の蛍光灯照明を全てLED化し、消費電力を削減。
- ・貫流ボイラーを高効率のものへ更新し使用燃料の削減。
- ・工場内の緑化。
- ・廃棄物の分別を徹底するため倉庫内を整頓、表示等をわかりやすくし廃棄物の削減を図った。
- ・生産設備の合理化により生産効率の向上を図った。
- ・夏季の日差しの強い窓にすだれ・たてすを設置し空調負荷を軽減した。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	エネルギー使用設備について管理標準の設定及び日常点検の実施	R4年～R8年	実施中
2	運用改善	デマンド監視装置を設置し、電力ピーク時の電力削減計画を立て実施	R4年～R8年	実施中
3	運用改善	使用していない照明の消灯及び生産設備等の待機電力削減	R4年～R8年	実施中
4	設備導入	連続式精練漂白機のボックス部分の断熱材の改修工事の実施	R4年～R8年	R4年度に改修工事完了
5	設備導入	各機械シリンダー乾燥機のスチームトラップを省エネタイプに交換	R4年～R8年	随時継続中

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組みにより原単位を報告対象年度を含む直近5年間で年平均1%以上の改善、または前年度に比べ改善することを目標とします。</p> <p>原単位 = エネルギー使用量(原油換算KL) / 生産数量</p> <p>エネルギー使用量は生産数量に大きく影響を受けるため、生産数量を原単位の指標(分母)として設定しました。</p> <p>[年平均1%以上の改善] 報告対象年度を含む直近5年間の対前年度比(%)の相乗平均が99.0%以下になることを目標とします。</p> <p>[前年度に比べ改善] 対前年度比(%)が100.0%以下になることを目標とします。</p>	<p>原単位で見ると昨年度とほぼ同等の結果となり、年平均1%以上の改善は出来なかった。効率的な稼働状況を考えてはいるが行き詰まり感がある。また、機械の老朽化により、蒸気配管、エア配管からの漏れによるエネルギーロスが考えられる。今後エネルギーロスを回収していき、より効率的な操業を目指す。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(R4)年度	(5)年度	(6)年度	(7)年度	(8)年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	3,314	3,584	3,873	3,795		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	5,957	6,261	7,225	6,992		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	5,957	6,261	7,225	6,992		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.272	0.270	0.267	0.259		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	空いた土地に太陽光パネルを設置し、自家発電をする。	R5年～R8年	計画検討中
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	0 kW	水力・小水力	0 kW	地熱	0 kW
太陽熱	0 kW	バイオマス	0 kW	その他 ()	0 kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		(4)年度	(5)年度	(6)年度	(7)年度	(8)年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0	0	0	
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0		

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度	(R8)年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	5,957	6,683	7,655	7,298		
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	5,957	6,683	7,655	7,298		
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.362	0.420	0.434	0.419		
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度	(R8)年度
	保有車輛の数	台	4	4	4	4		
	上記のうち 次世代自動車等の 数	台	2	2	2	2		
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	廃棄物排出量の削減。廃棄物倉庫の整理整頓及び分別表示を分かりやすくし従業員への周知徹底。	R4年～R8年	実行中
2	環境マネジ メントシステム (EMS)	緑化及びコピー用紙の両面活用	R4年～R8年	実行中
3	環境マネジ メントシステム (EMS)	製品の出荷・荷受時のトラック等のアイドリングストップ推進活動。	R4年～R8年	推進中
4	環境マネジ メントシステム (EMS)	製品出荷時の梱包の軽量化。	R4年～R8年	実施中
5	環境マネジ メントシステム (EMS)	従業員の通勤手段として公共の交通機関の利用を促すと共にエコドライブの推進活動	R4年～R8年	推進中